



2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年11月9日

上場会社名 株式会社ホロン 上場取引所 東
 コード番号 7748 URL https://www.holon-ltd.co.jp
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 張 皓
 問合せ先責任者(役職名) 取締役総務部長 (氏名) 菅野 明郎 (TEL) 042-537-7990
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 2021年12月7日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の業績(2021年4月1日~2021年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	1,583	3.8	424	△1.5	415	3.3	288	5.0
2021年3月期第2四半期	1,526	△29.1	431	△44.7	401	△47.7	275	△47.2
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2022年3月期第2四半期	75.57		—					
2021年3月期第2四半期	81.02		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	6,936	5,203	75.0
2021年3月期	6,320	5,128	81.1

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 5,203百万円 2021年3月期 5,128百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2022年3月期	—	10.00			
2022年3月期(予想)			—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

当社の主力事業である製品事業では、装置1台あたりの販売価格が非常に高額なことから、得意先の検収のタイミングにより売上計上時期は大きく変動する可能性があります。従って、月次ごと及び四半期ごとの見通しは立てにくい状況にあるため、業績予想は当社の年間目標として通期のみ開示いたします。

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,234	4.1	686	12.2	673	14.8	464	7.6	121.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正につきましては、本日(2021年11月9日)に公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. (4) 四半期財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期2Q	3,823,900株	2021年3月期	3,823,900株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2022年3月期2Q	520株	2021年3月期	440株
------------	------	----------	------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2022年3月期2Q	3,823,395株	2021年3月期2Q	3,397,983株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの影響を受けるなか輸出は緩やかな増加が続いており、生産は一部に弱さがみられるものの、持ち直しております。

半導体業界におきましては、SEMIが世界全体の投資額は2021年に最高を更新する見通しを発表しました。当社主要顧客もデータセンターなどで使う最先端半導体の開発・生産に必要な投資が増大していることを背景に2021～2023年度の累計投資額を1000億ドルと見込んでおり、設備投資は順調に進む様相をみせ、当社への需要も大変旺盛であります。

一方、昨今の世界的な部材不足につきまして、当社業績への影響は現在発表しているものについては順調に進捗しておりますが、前述の増大する需要に対する対応という点におきましては、一部で不透明感が出てきている状況です。

引き続き当社装置へのすべての需要に対し、来期にずれ込むことなく顧客の希望する納期での提供が出来るよう全社一丸となり努めてまいります。

このような状況のもと、当第2四半期累計期間におきましても業績は計画通りに推移しております。

この結果、売上高は1,583百万円（前年同四半期比3.8%増）となりました。損益につきましては、営業利益424百万円（前年同四半期比1.5%減）、経常利益415百万円（前年同四半期比3.3%増）、及び四半期純利益288百万円（前年同四半期比5.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて0.2%増加し、4,729百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が726百万円減少した一方、仕掛品が469百万円、その他中の未収消費税等が154百万円それぞれ増加したことなどによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて38.1%増加し、2,206百万円となりました。これは、建物の取得等により有形固定資産が584百万円増加したことなどによります。

この結果、資産合計は前事業年度末に比べて9.7%増加し、6,936百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて59.9%増加し、1,559百万円となりました。これは、その他中の前受金が426百万円、支払手形及び買掛金が64百万円、未払法人税等が72百万円それぞれ増加したことなどによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて20.0%減少し、173百万円となりました。これは、長期借入金が50百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は前事業年度末に比べて45.4%増加し、1,732百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて1.5%増加し、5,203百万円となりました。これは、利益剰余金が75百万円増加したことなどによります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前事業年度末に比べて123百万円増加（前第2四半期累計期間は1,740百万円の増加）し、2,589百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は902百万円（前第2四半期累計期間に獲得した資金は568百万円）となりました。これは主に、棚卸資産の増加額が401百万円あった一方、税引前四半期純利益が415百万円、前受金の増加額が369百万円、売上債権の減少額が460百万円あったことなどによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は658百万円（前第2四半期累計期間に使用した資金は833百万円）となりました。これは、建物の取得等により有形固定資産の取得による支出が638百万円あったことなどによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は118百万円（前第2四半期累計期間に獲得した資金は2,005百万円）となりました。これは、長期借入金の返済による支出が78百万円、配当金の支払いが38百万円あったことなどによります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、当第2四半期累計期間における業績の動向を踏まえ、2021年5月11日に発表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2021年11月9日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績につきましては、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,485,871	2,609,577
受取手形及び売掛金	1,209,867	482,893
仕掛品	668,889	1,138,233
原材料	199,990	187,992
その他	157,560	310,876
流動資産合計	4,722,179	4,729,572
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	0	1,186,132
土地	626,031	626,031
建設仮勘定	613,935	—
その他(純額)	65,085	77,452
有形固定資産合計	1,305,052	1,889,615
無形固定資産	84,205	85,270
投資その他の資産	208,729	231,568
固定資産合計	1,597,987	2,206,454
資産合計	6,320,166	6,936,027
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	372,787	437,181
電子記録債務	143,058	172,648
1年内返済予定の長期借入金	140,834	112,496
未払法人税等	15,186	87,238
賞与引当金	96,384	103,704
製品保証引当金	59,383	57,094
その他	147,363	588,787
流動負債合計	974,997	1,559,151
固定負債		
長期借入金	75,000	25,000
退職給付引当金	131,957	140,022
その他	9,934	8,440
固定負債合計	216,891	173,463
負債合計	1,191,889	1,732,614
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,764,024	1,764,024
資本剰余金	1,235,416	1,235,416
利益剰余金	2,129,834	2,205,332
自己株式	△998	△1,360
株主資本合計	5,128,276	5,203,412
純資産合計	5,128,276	5,203,412
負債純資産合計	6,320,166	6,936,027

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
売上高	1,526,078	1,583,377
売上原価	681,985	750,931
売上総利益	844,092	832,446
販売費及び一般管理費		
役員報酬	39,300	61,150
給料及び手当	36,731	40,978
賞与引当金繰入額	19,683	25,138
研究開発費	80,895	76,255
販売手数料	109,850	79,260
製品保証引当金繰入額	11,771	6,266
その他	114,849	118,930
販売費及び一般管理費合計	413,082	407,979
営業利益	431,010	424,466
営業外収益		
受取利息	26	24
その他	10	199
営業外収益合計	36	224
営業外費用		
支払利息	991	579
株式交付費	24,860	—
為替差損	3,317	8,994
その他	34	—
営業外費用合計	29,204	9,573
経常利益	401,842	415,117
税引前四半期純利益	401,842	415,117
法人税、住民税及び事業税	120,010	75,324
法人税等調整額	6,528	50,850
法人税等合計	126,538	126,174
四半期純利益	275,303	288,942

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	401,842	415,117
減価償却費	49,342	64,877
株式交付費	24,860	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	12,221	7,320
製品保証引当金の増減額(△は減少)	3,992	△2,288
退職給付引当金の増減額(△は減少)	7,350	8,065
受取利息及び受取配当金	△26	△24
支払利息	991	579
為替差損益(△は益)	2,303	5,082
売上債権の増減額(△は増加)	700,002	460,474
棚卸資産の増減額(△は増加)	15,985	△401,792
仕入債務の増減額(△は減少)	△148,083	93,983
前受金の増減額(△は減少)	3,300	369,300
未収消費税等の増減額(△は増加)	△102,778	△154,358
未払消費税等の増減額(△は減少)	△37,289	1,715
預り金の増減額(△は減少)	1,023	185
その他	△21,328	35,669
小計	913,709	903,905
利息及び配当金の受取額	26	24
利息の支払額	△991	△579
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△344,716	△452
営業活動によるキャッシュ・フロー	568,028	902,899
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△781,767	△638,908
無形固定資産の取得による支出	△40,372	△19,625
敷金及び保証金の差入による支出	△56,290	—
敷金及び保証金の返還による収入	45,115	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△833,315	△658,533
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△78,338	△78,338
リース債務の返済による支出	△3,495	△1,792
自己株式の取得による支出	△181	△362
配当金の支払額	△33,199	△38,140
株式の発行による収入	2,120,392	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,005,178	△118,634
現金及び現金同等物に係る換算差額	650	△2,025
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,740,542	123,706
現金及び現金同等物の期首残高	1,573,341	2,465,871
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,313,884	2,589,577

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、海外向け製品販売については、従来、船積時点で売上計上しておりましたが、船積時点及び検収時点で売上計上する方法に変更いたしました。また、国内向け製品販売については、従来、検収時点で売上計上しておりましたが、引渡時点及び検収時点で売上計上する方法に変更いたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、第1四半期会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を第1四半期会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高が28,000千円、売上原価が36,329千円それぞれ増加し、販売費及び一般管理費が1,740千円減少し、営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ6,589千円減少しております。また、利益剰余金の当期首残高は175,210千円減少しております。